

日経IR・個人投資家フェア2023 三二会社説明会



(東証プライム 3433)

2023年9月1日・2日

TOCALO トーカロ株式会社

本日の内容

1. 会社概要
2. 特長と強み
3. 2024年3月期業績見通しと成長戦略
4. 株価と株主還元

1. 会社概要

トーカロ株式会社

事業内容：**溶射を中心とした表面改質加工**

本社：兵庫県神戸市

設立：1951年7月

資本金：26億5,882万3千円

売上高：連結 481億44百万円 (2023年3月期)

従業員数：連結 1,300名 (2023年3月末現在)



当社の主な事業所

※JCC = 日本コーティングセンター



本社・神戸工場・明石工場・
溶射技術開発研究所・JCC※明石

倉敷工場



北九州工場



JCC※本社

JCC※佐野

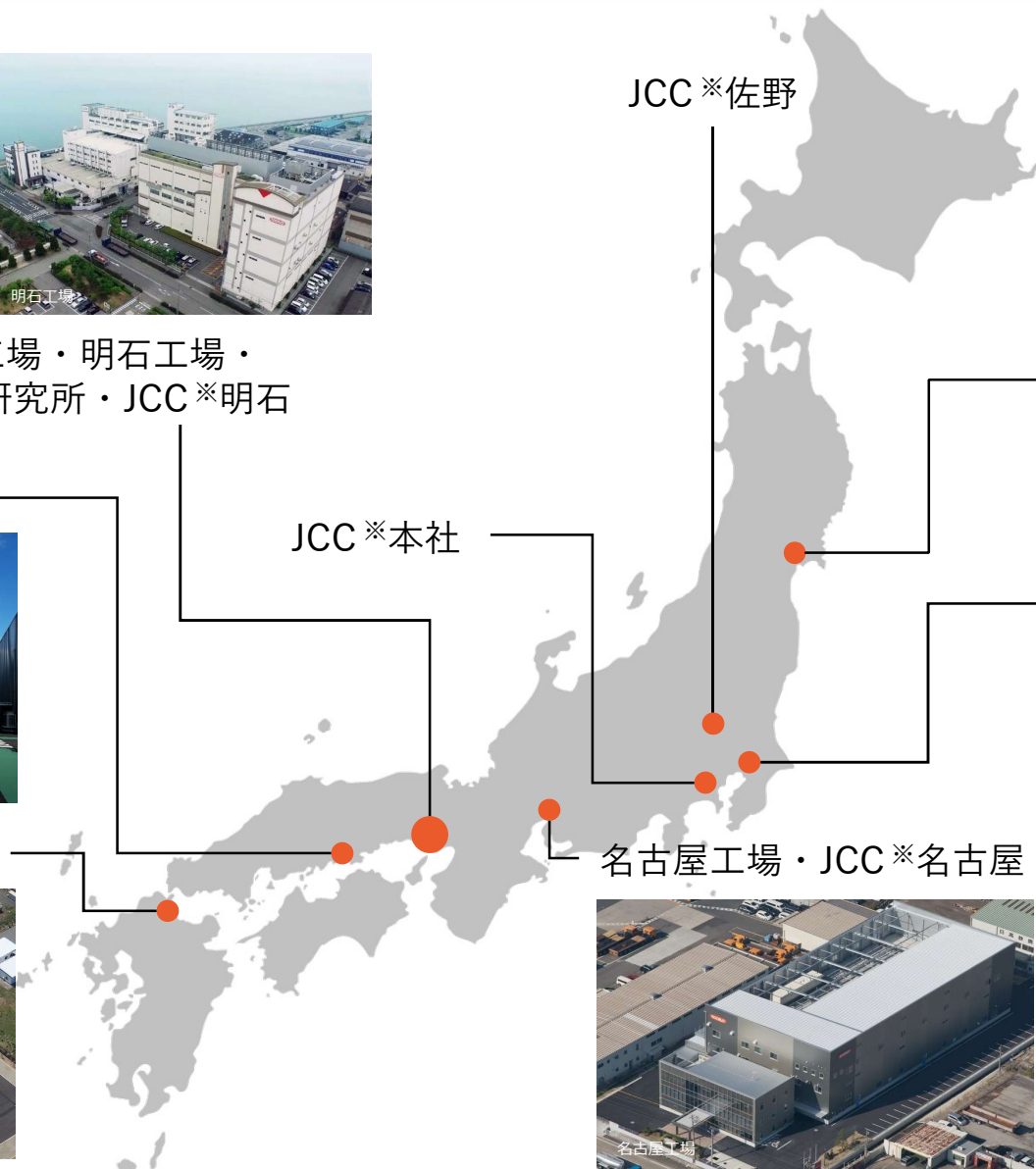


宮城技術
サービスセンター

東京工場



名古屋工場・JCC※名古屋



グループ会社



日本コーティング センター株式会社

設立年月：1985年4月
本社：神奈川県
出資比率：100%
主な事業分野：PVD処理加工

東賀隆(昆山)電子 有限公司

設立年月：2011年5月
本社：中国 江蘇省
出資比率：90%
主な事業分野：溶射(半導体・FPD)



東華隆(広州)表面改質 技術有限公司

設立年月：2005年4月
本社：中国 広東省
出資比率：70%
主な事業分野：溶射(鉄鋼他)

PT. TOCALO Surface Technology Indonesia

(非連結子会社で持分法非適用)

設立年月：2017年6月
本社：インドネシア
出資比率：100% (間接保有1%含む)
主な事業分野：溶射 (鉄鋼他)

NEIS & TOCALO (Thailand) CO., Ltd.

(関連会社で持分法非適用)

設立年月：2012年10月
本社：タイ
出資比率：49%
主な事業分野：溶射 (鉄鋼他)

TOCALO USA, Inc.

設立年月：2015年11月
本社：米国 CA州
出資比率：100%
主な事業分野：溶射(半導体他)



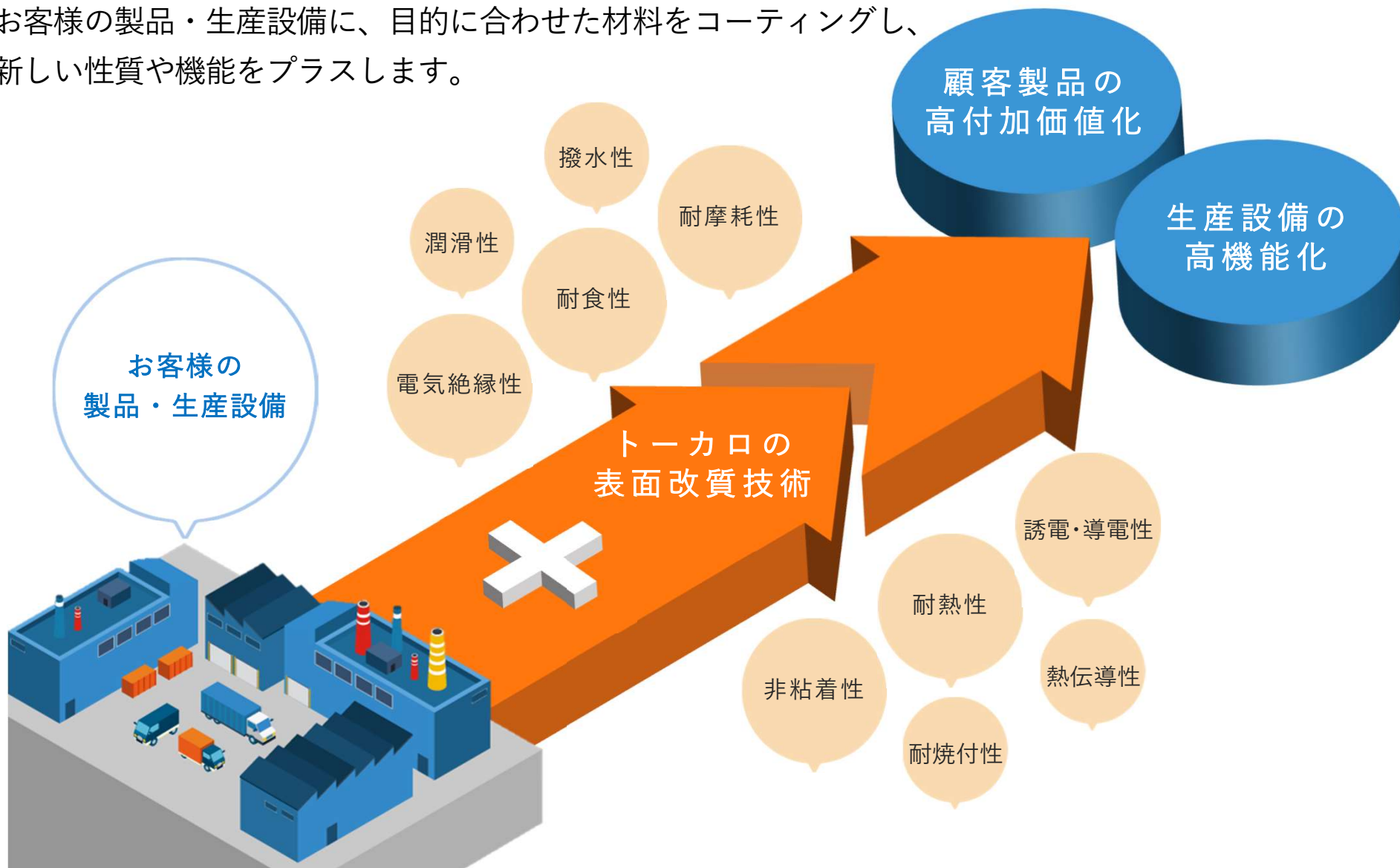
漢泰国際電子股份 有限公司

設立年月：2011年6月
本社：台湾 台南市
出資比率：50%
主な事業分野：溶射(半導体・FPD)



トーカロの表面改質技術

お客様の製品・生産設備に、目的に合わせた材料をコーティングし、新しい性質や機能をプラスします。



溶射とは

溶射とは、溶射材料を溶かして吹き付け、皮膜を形成するコーティング方法です。

溶射材料

金属
合金
サーメット
セラミックス

形成された皮膜

衝突粒子

基材

飛行中の溶融粒子

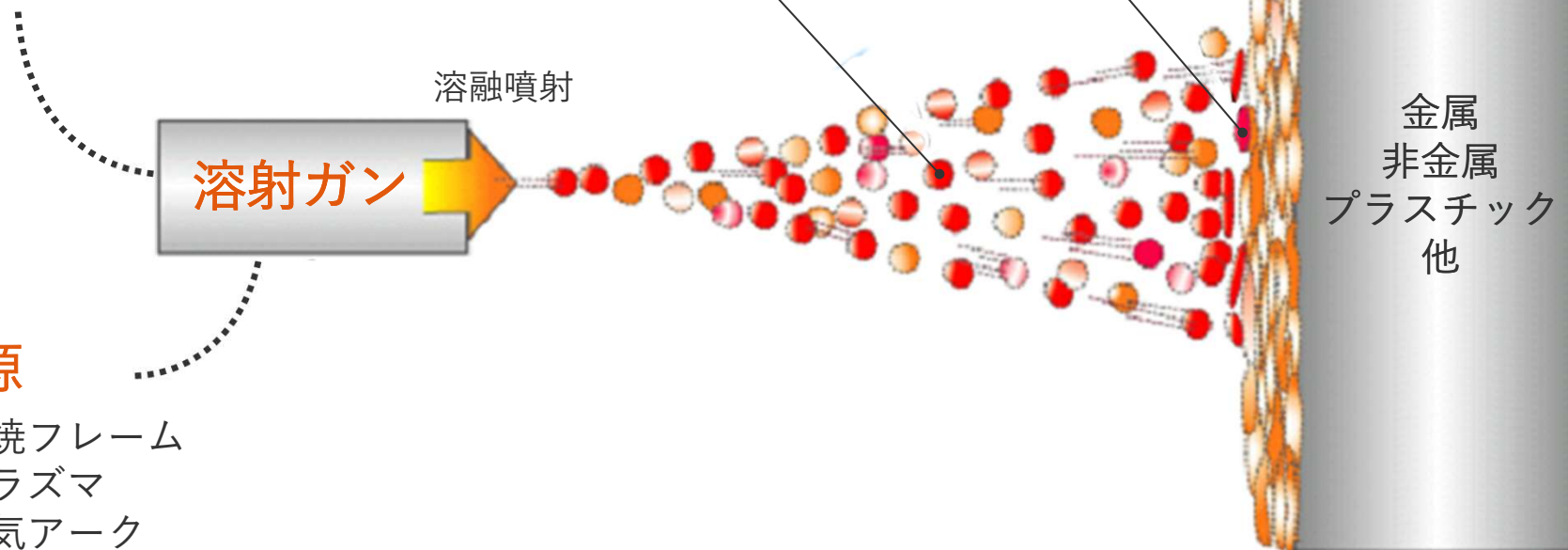
溶融噴射

溶射ガン

金属
非金属
プラスチック
他

熱源

燃烧フレイム
プラズマ
電気アーク

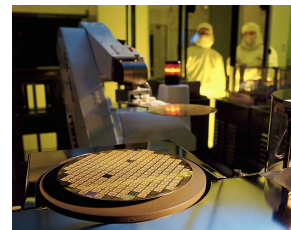


さまざまな産業界に広がる事業領域



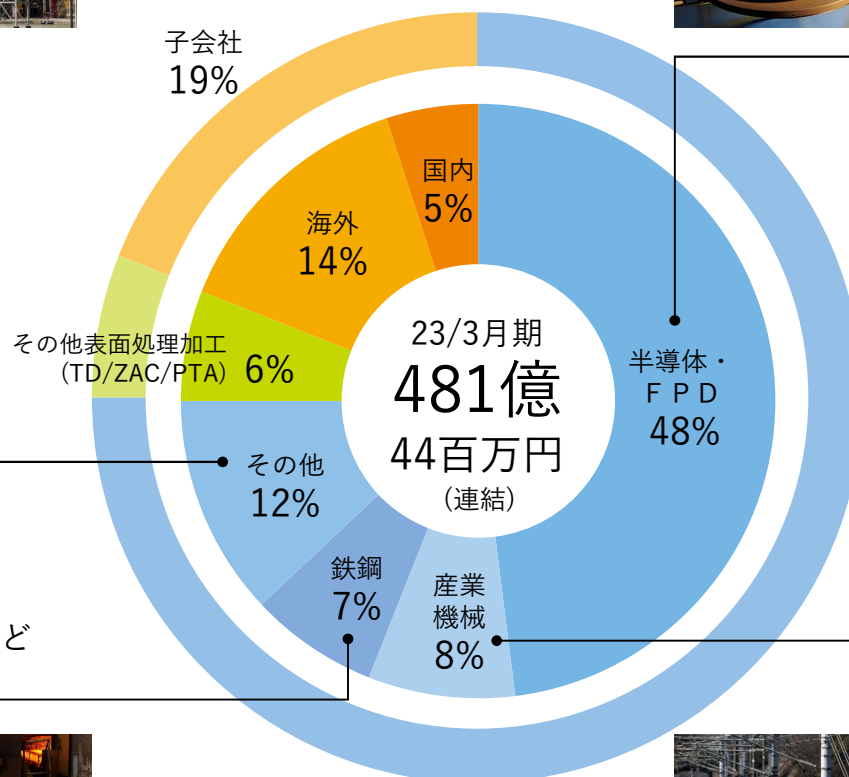
その他分野

- 石油精製・化学プラント関連
- 製紙ロール
- ガラス搬送ロール
- 風力・水力発電設備部品
- 航空機エンジン部材 など



半導体・FPD（フラットパネルディスプレイ）分野

- 半導体・FPD製造装置部品
 - ✓ 発塵防止（耐プラズマ）
 - ✓ 静電吸着
 - ✓ 帯電防止



鉄鋼分野

- 炉内ロール、亜鉛浴中ロール など
 - ✓ 耐ビルドアップ（堆積物）
 - ✓ 耐熱
 - ✓ 耐摩耗
 - ✓ 耐食



産業機械分野

- 電気絶縁ベアリング
- 発電用ボイラーパネル
- ガスタービン部材
- N A S 電池
- 電極材製造装置部品 など



トーカロ × 半導体製造装置

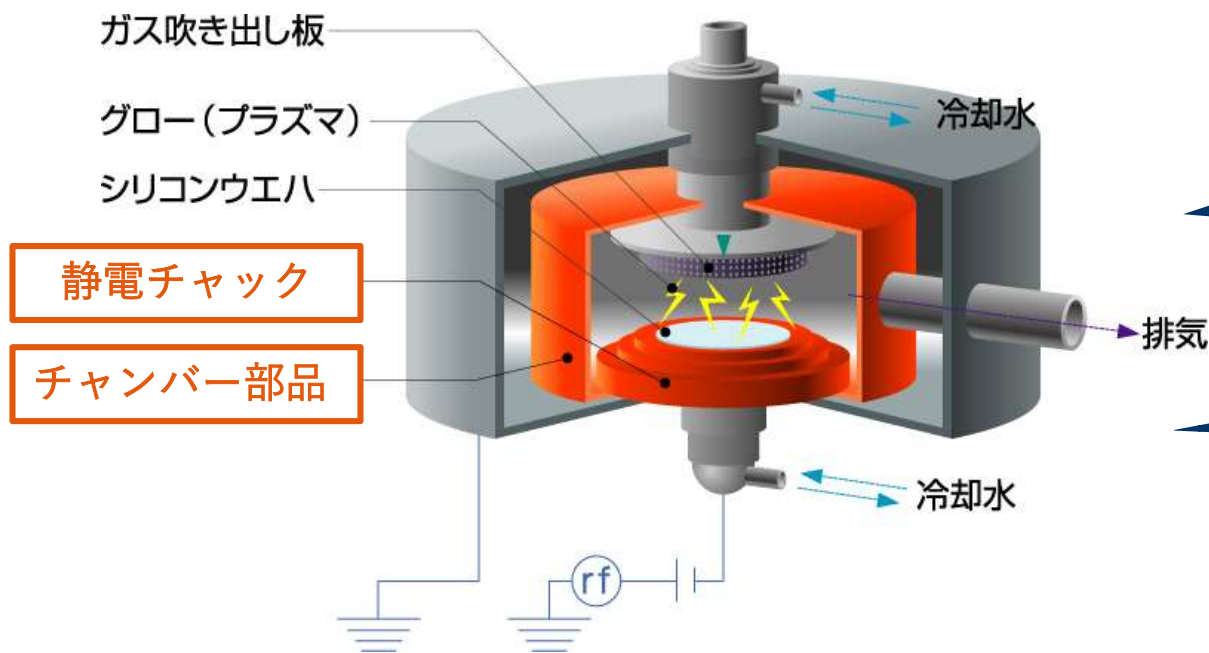
半導体製造工程 (前工程)



※ エッチング工程とは？

焼き付けられたレジスト以外の部分を削り取る工程

ドライエッチング装置



付加する機能①

シリコンウエハを静電気で吸着(固定)させる。

付加する機能②

耐プラズマ性(発塵防止)

ト一カ口 × 新幹線



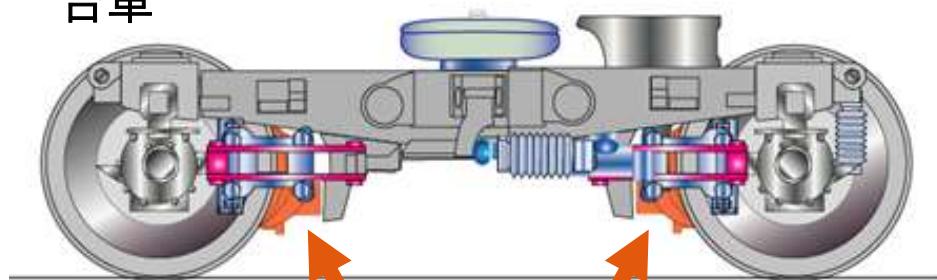
付加する機能

電気絶縁性 (電食防止)

駆動モーター用ベアリング



台車

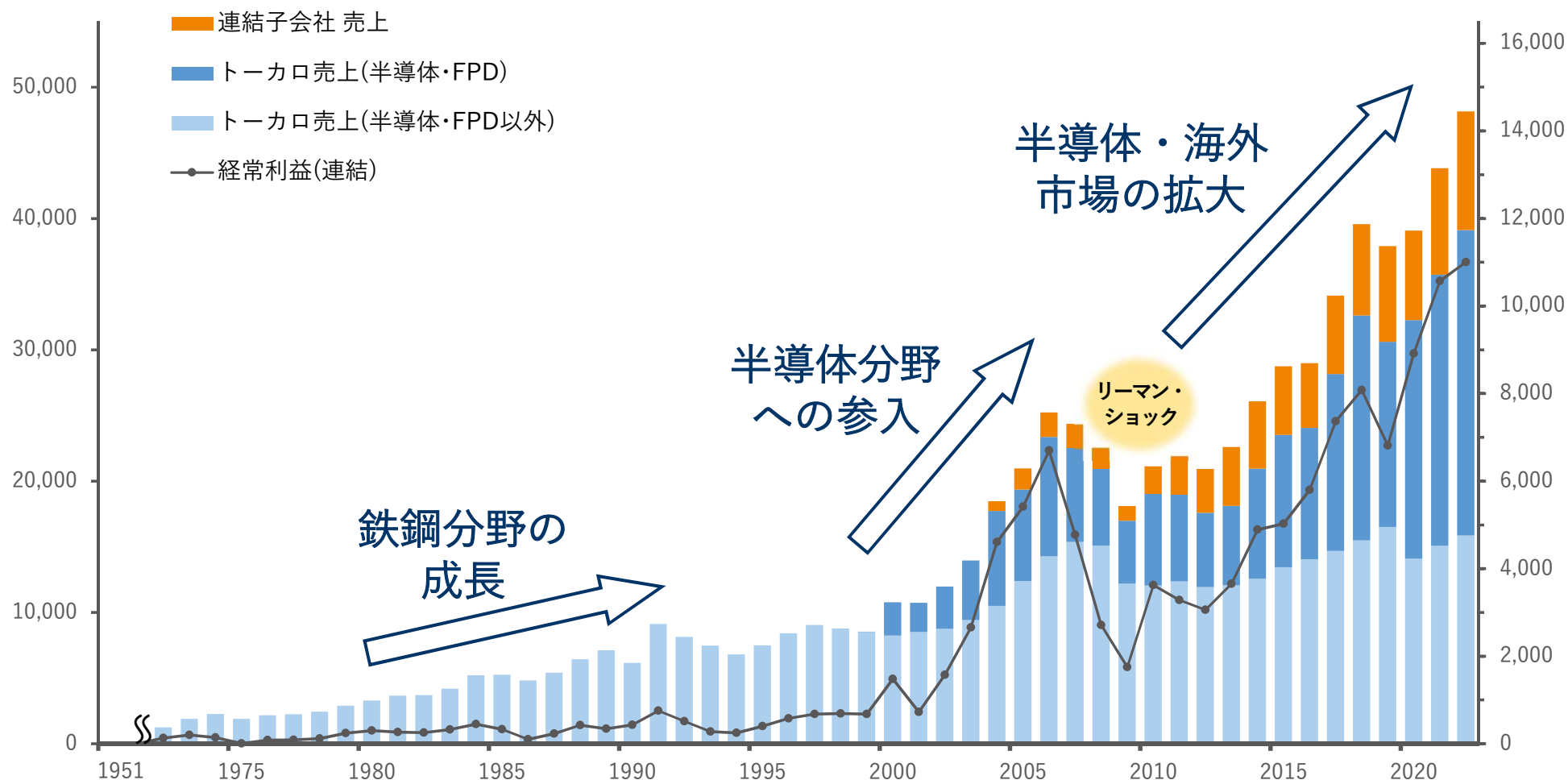


駆動モーター

業績の推移 (1951年度～)

売上高
(単位：百万円)

経常利益



2. 特長と強み

キーワードで知るトーカロ

- ① ニッチトツプ
- ② 現場密着
- ③ オーダーメイド
- ④ 研究開発

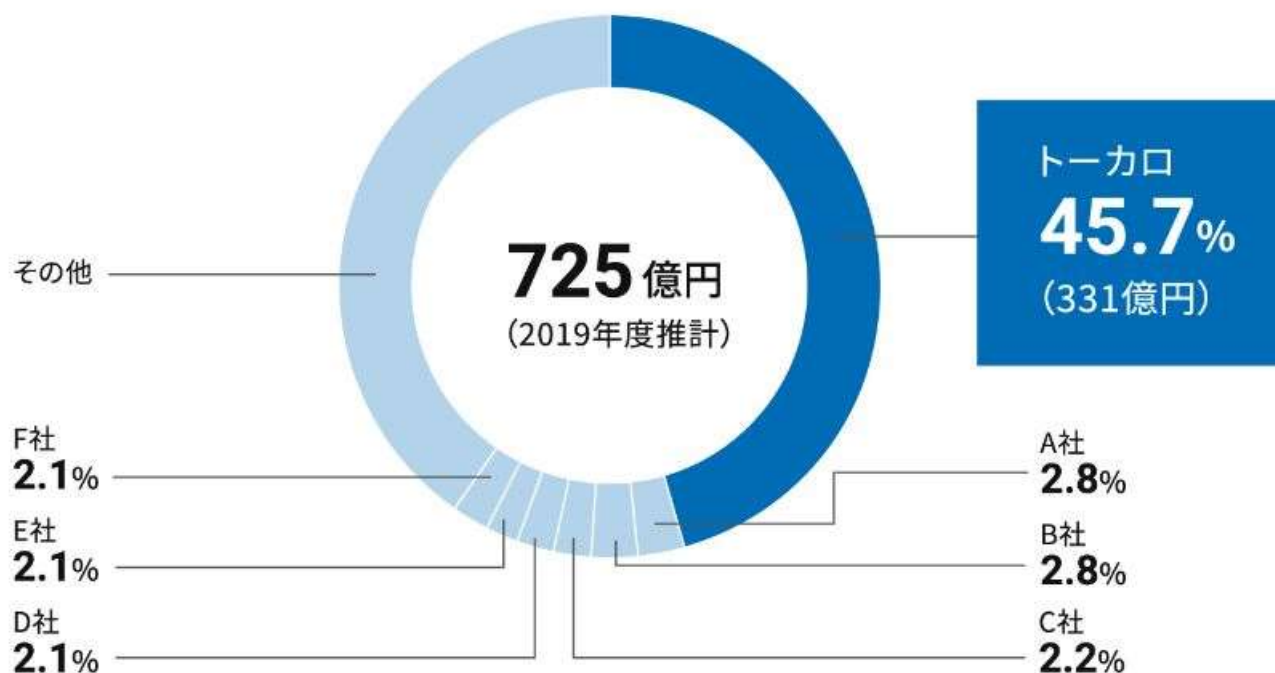


① ニッチトップ

受託加工サービスの国内溶射市場は**約700億円**。

トーカロは**4割強のシェア**を占めています。

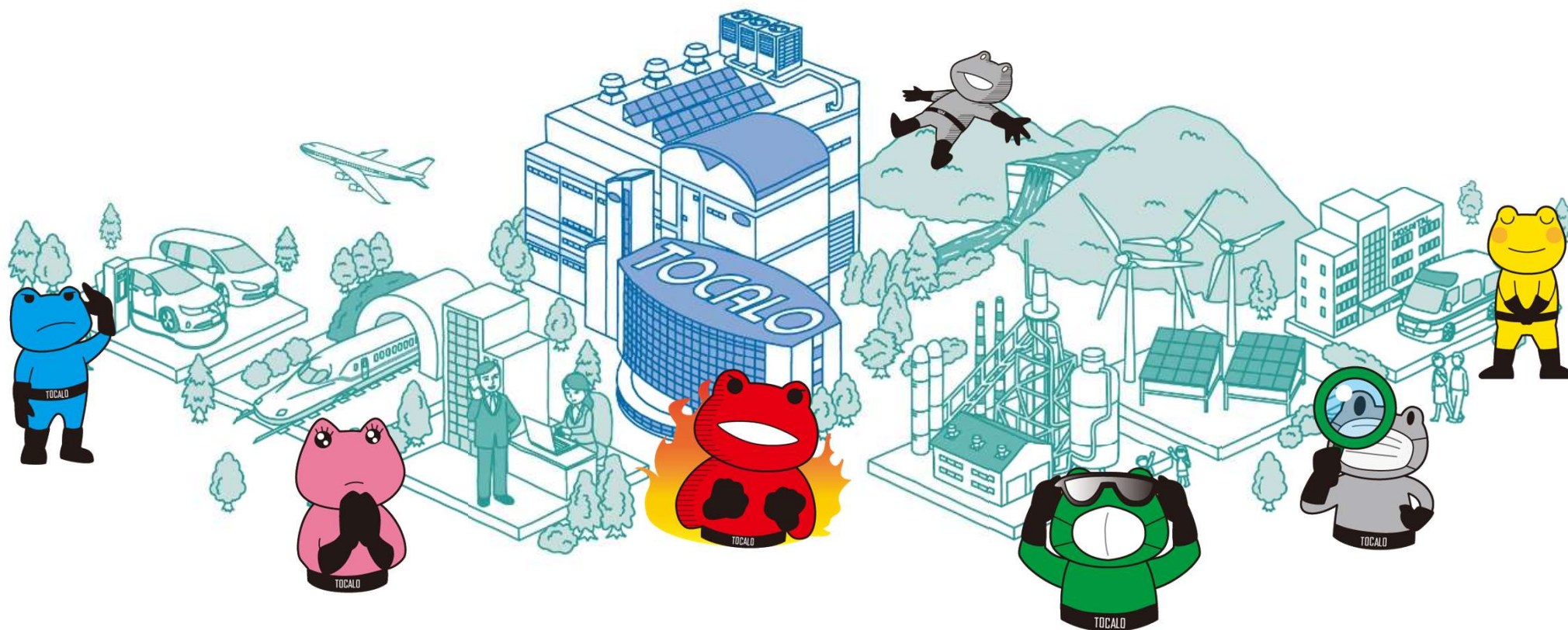
国内溶射市場（ジョブショップ市場）



出所「溶射業界における市場調査及び将来市場展望報告書」
 発行所：株式会社矢野経済研究所 監修：日本溶射工業会、一般社団法人日本溶射学会

② 現場密着

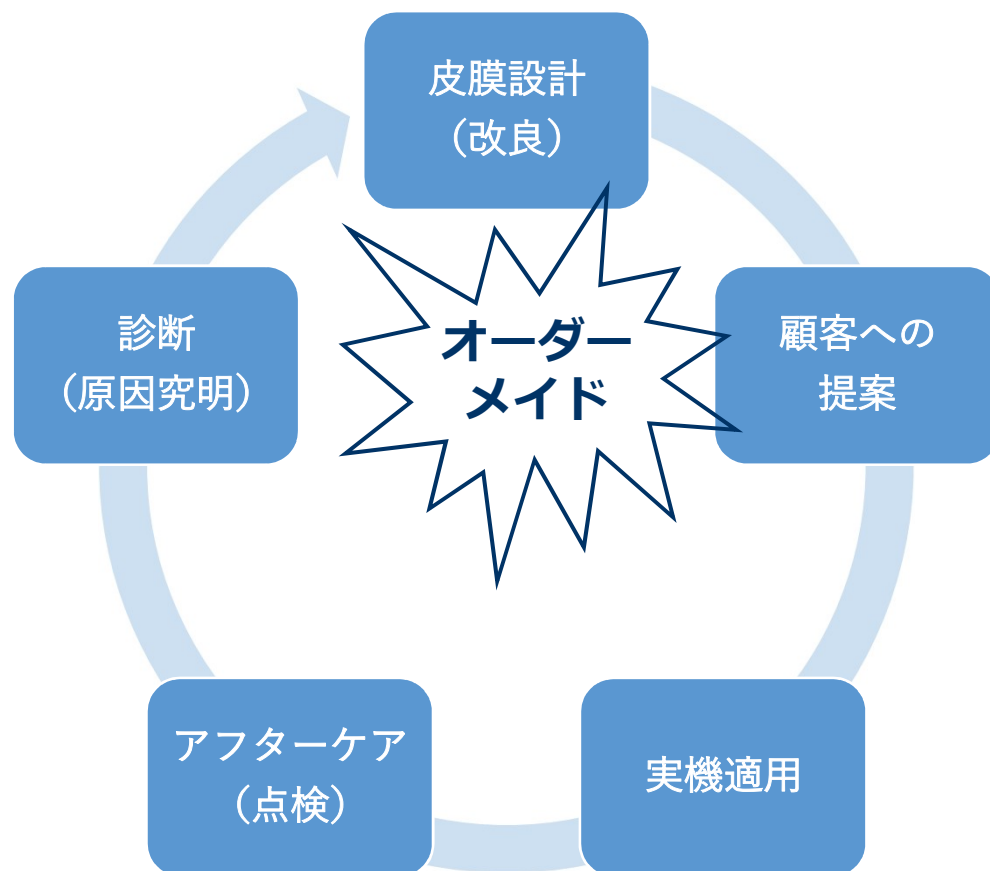
セールスエンジニア**約100名**が、お客様の製造現場に密着し、
当社技術で解決できる課題を見つけて提案します。



お客様が気付いていない**潜在的なニーズ**さえも！

③ オーダーメイド

1000種類以上のコーティング材料、多様な表面改質技術、
そして豊富な施工実績に基づくオーダーメイド仕様。



最適な材料の
組み合わせは？

どの技術を用いるか？

過去の施工例をヒントに。
(失敗は成功のもと！)

④ 研究開発

お客様の様々なニーズに応えるため、至るところで研究開発。

先進的な機能性皮膜を常に追い求めています。

産学官共同研究

公的研究機関

国内外の
主要大学



TOCALO


溶射技術開発研究所



共同開発・
特許の共同出願

全国の取引先

No.1 & Only 1 技術・サービスの創出で世界をリードします。



3. 2024年3月期業績予想 と成長戦略

売上高と経常利益の見通し

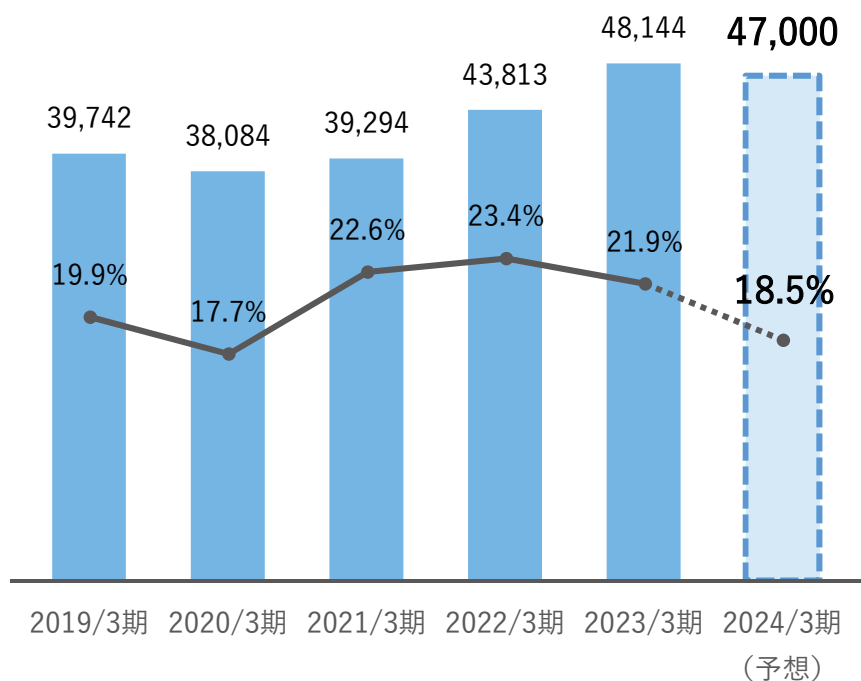
POINT 半導体分野の落ち込みにより、4期ぶりの減収となる見込み。

POINT 経常利益は前期比20.9%減と、大きく減少する見通し。

売上高

前期比
-2.4%

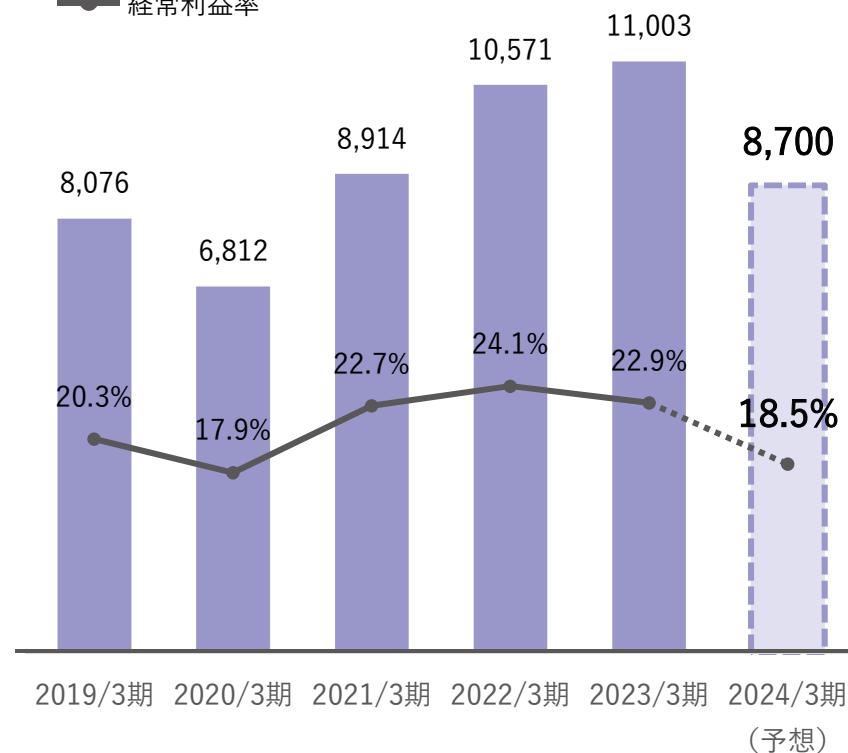
■ 売上高(百万円)
● 営業利益率



経常利益

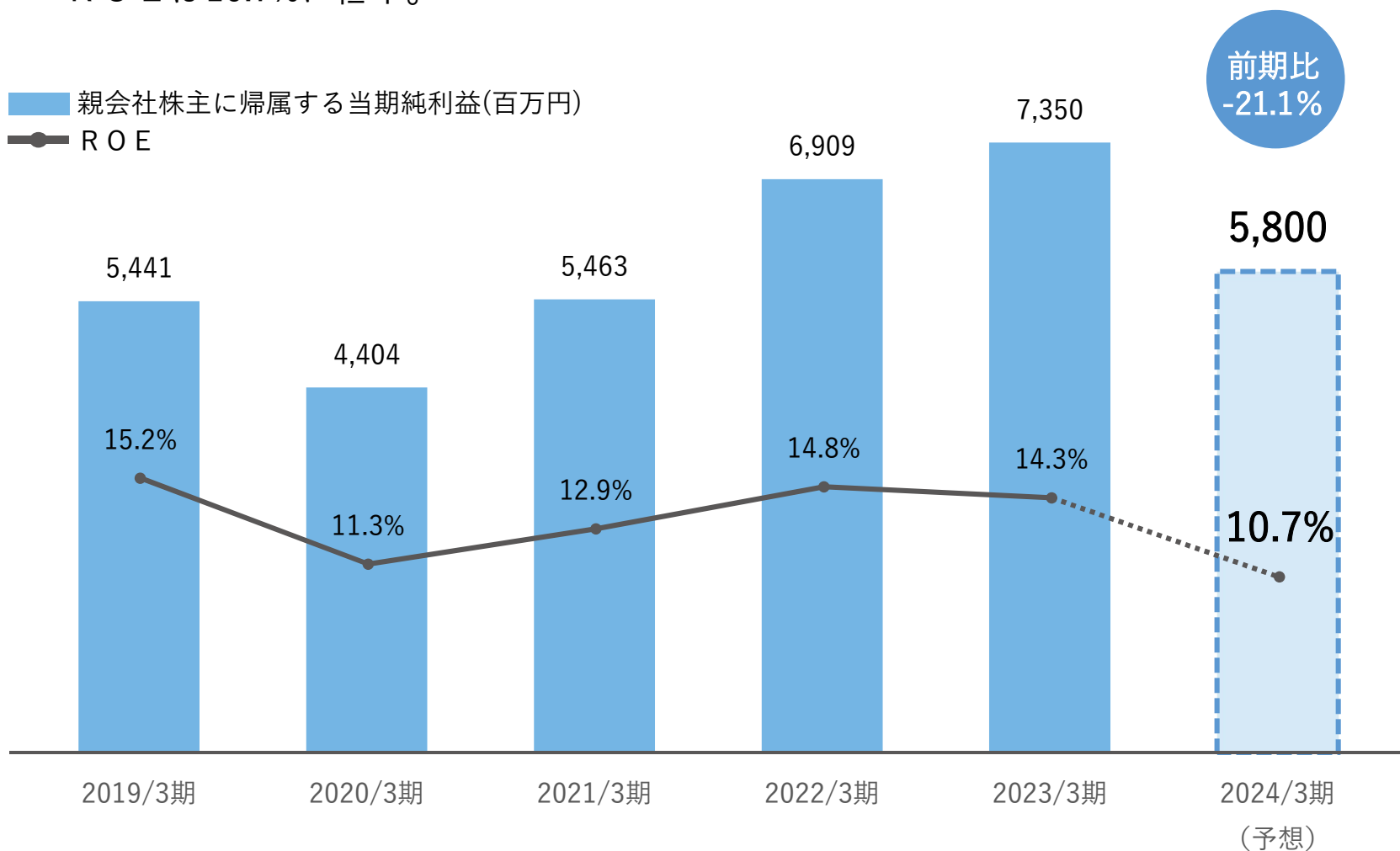
前期比
-20.9%

■ 経常利益(百万円)
● 経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益と R O E の見通し

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比21.1%減。
R O E は10.7%に低下。

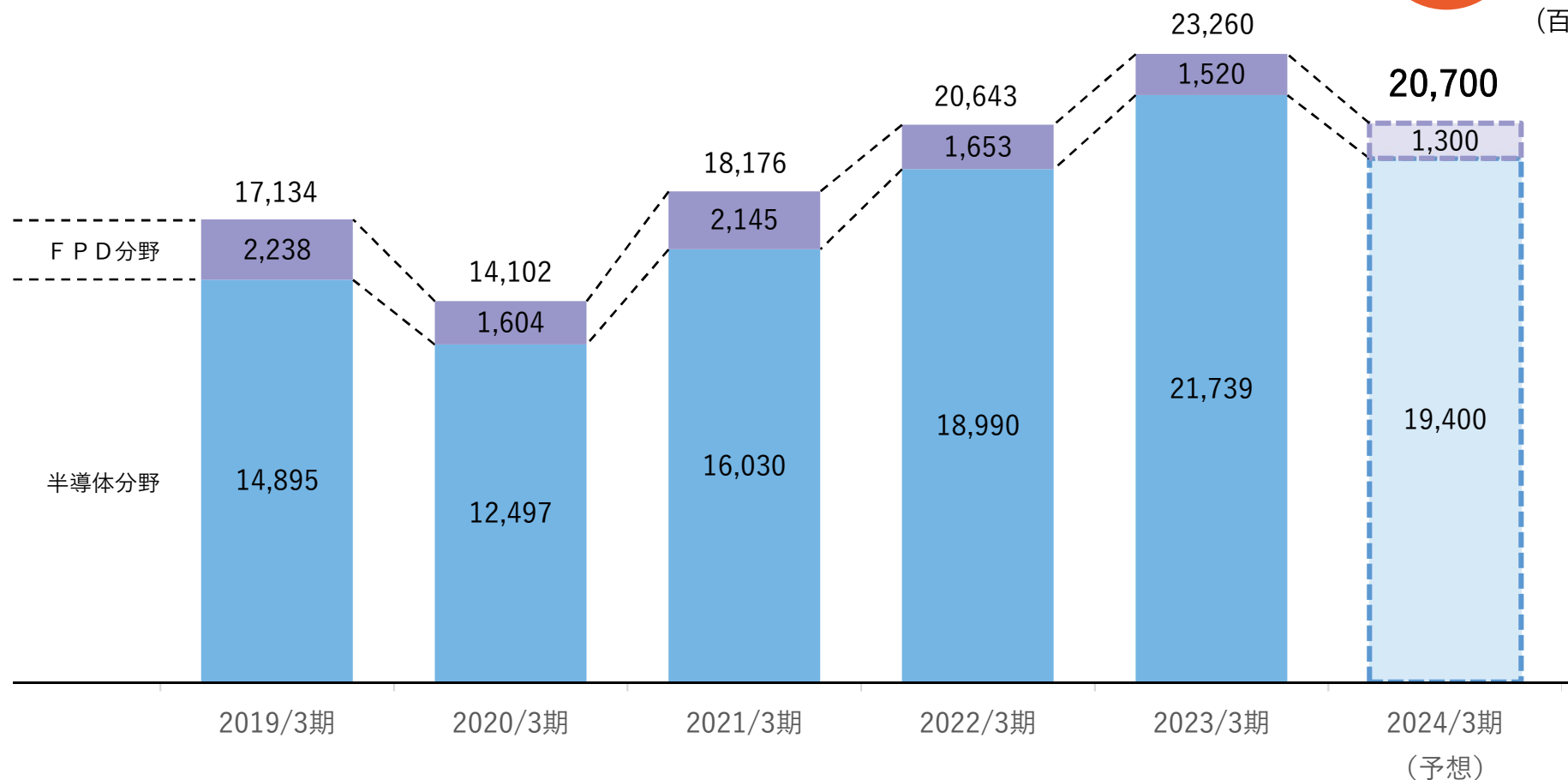


半導体・FPD分野の売上推移

POINT 半導体業界が、昨年度後半から一時的な調整局面に入った影響で、受注・売上が大きく落ち込む。

前期比
-11.0%

(百万円)

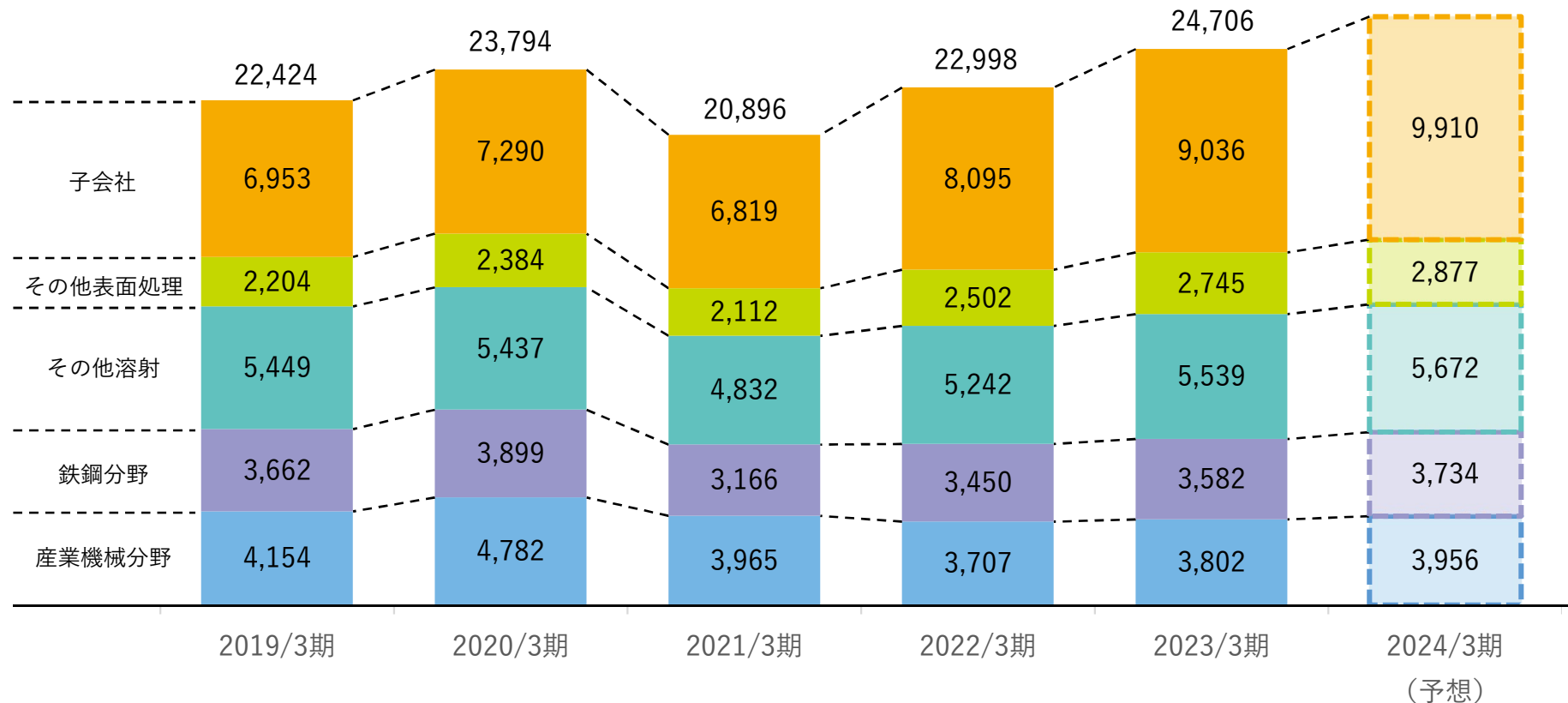


半導体・F P D分野以外の売上推移

POINT 産業機械分野、鉄鋼分野、子会社など、半導体・F P D分野以外のすべてのカテゴリで増収を見込む。

前期比
+5.8%

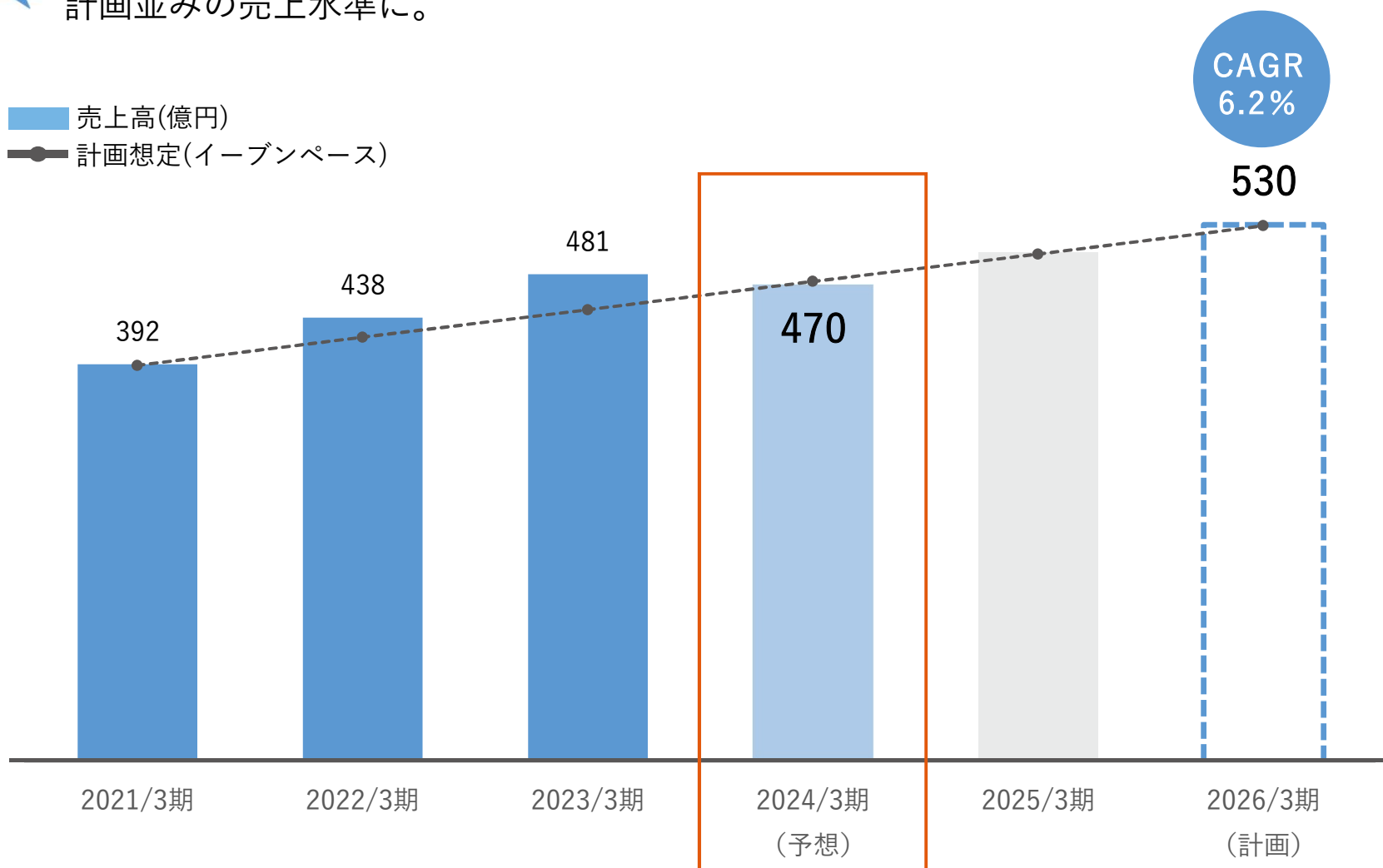
(百万円)



(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティ等」は含まれておりません。

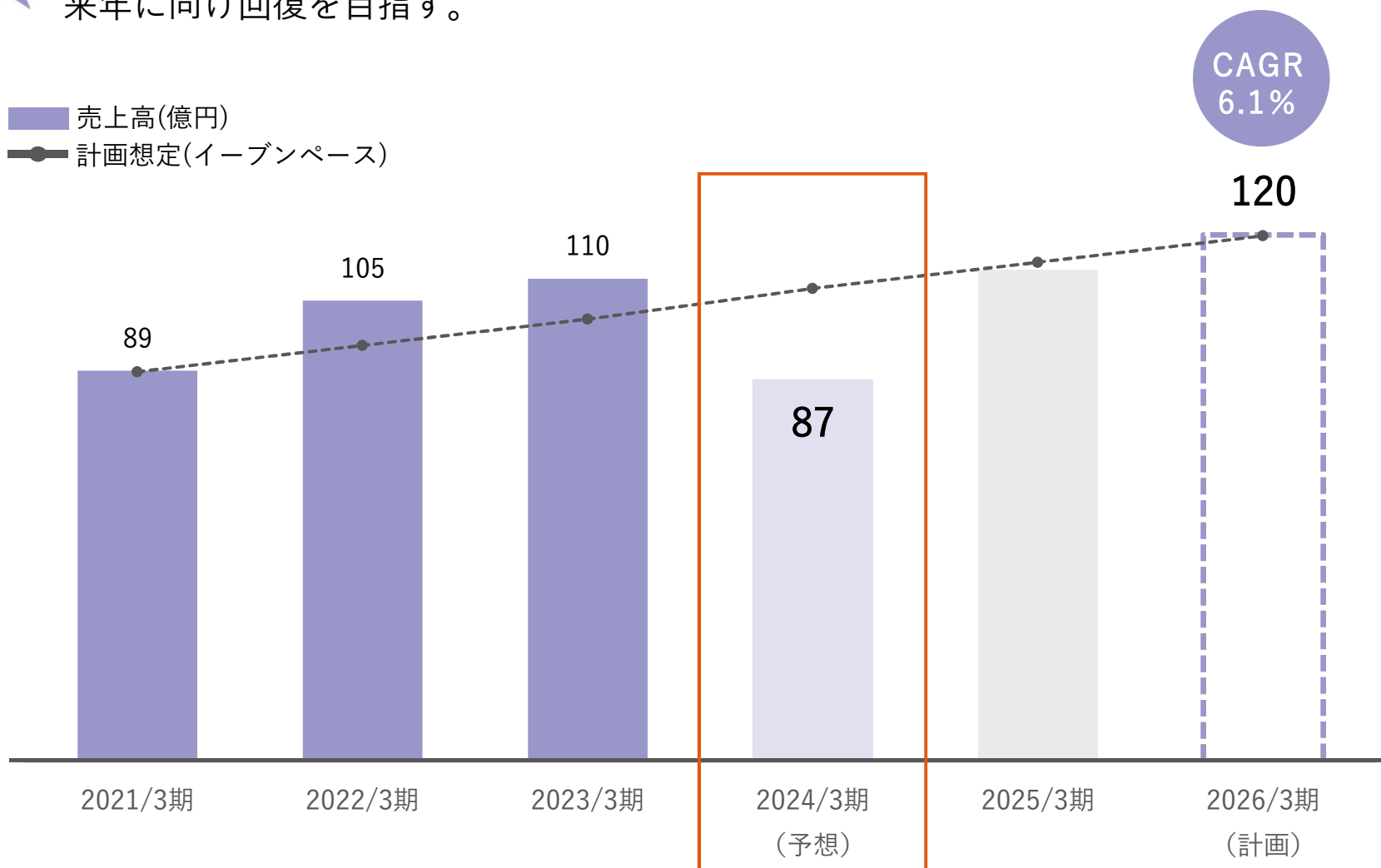
中期経営計画（売上高）の進捗状況

POINT 好調であった計画1～2年目の上積みがなくなり、計画並みの売上水準に。



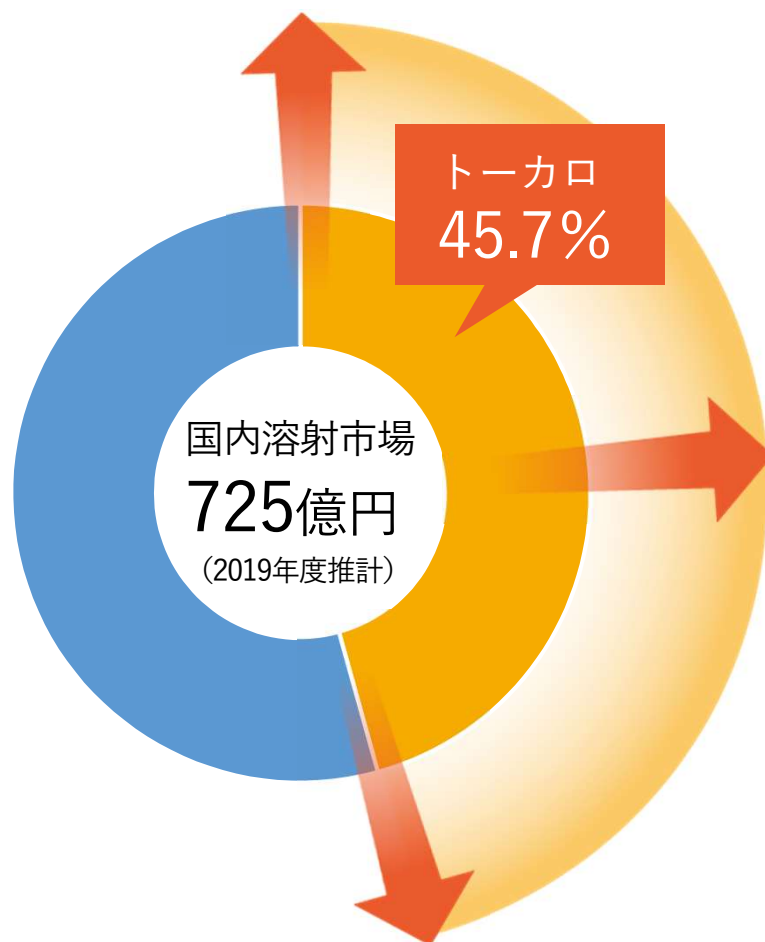
中期経営計画（経常利益）の進捗状況

POINT 経常利益は、計画の振り出し（2021年3月期）に戻り、来年に向け回復を目指す。



成長戦略の考え方

溶射のトップメーカーとして、既存市場のパイを取り合うのではなく、新皮膜開発&新市場の創出により、溶射市場の拡大を図っていきます。

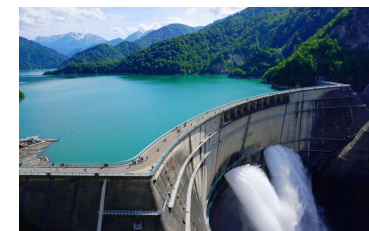


半導体・FPD

- 微細化、多層化、高アスペクト化への対応 (次世代皮膜)

エネルギー

- 風力・水力発電設備の耐久性・発電効率向上
- 脱化石燃料への対策 (水素、アンモニア、バイオマス等)
- 環境ビジネスでの案件創出



素材

- 2次電池部材、燃料電池部材
- リサイクル設備

新事業領域

- 医療用器具
- 農業機械
- 電気自動車 など

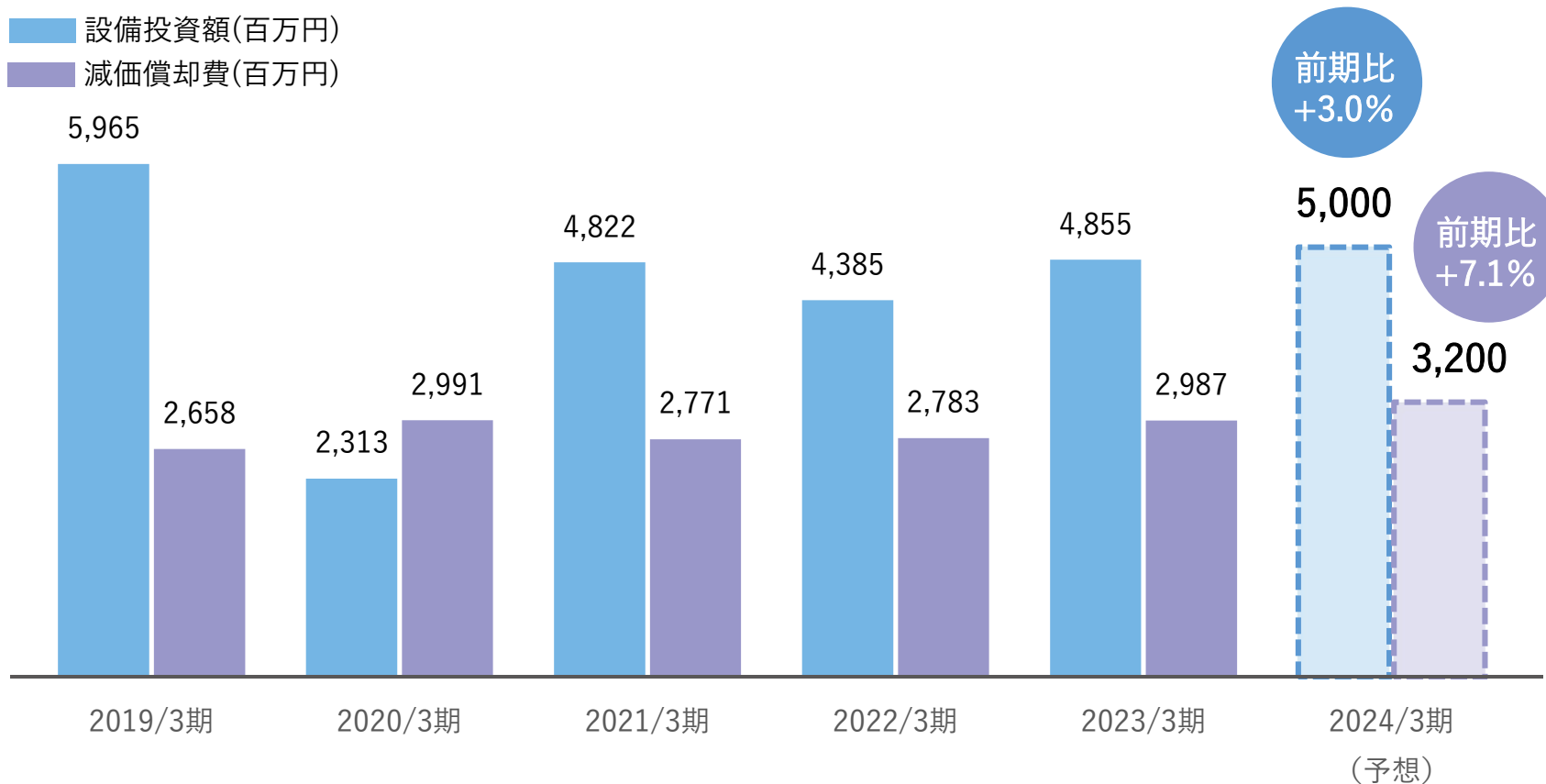


設備投資計画と減価償却費

POINT

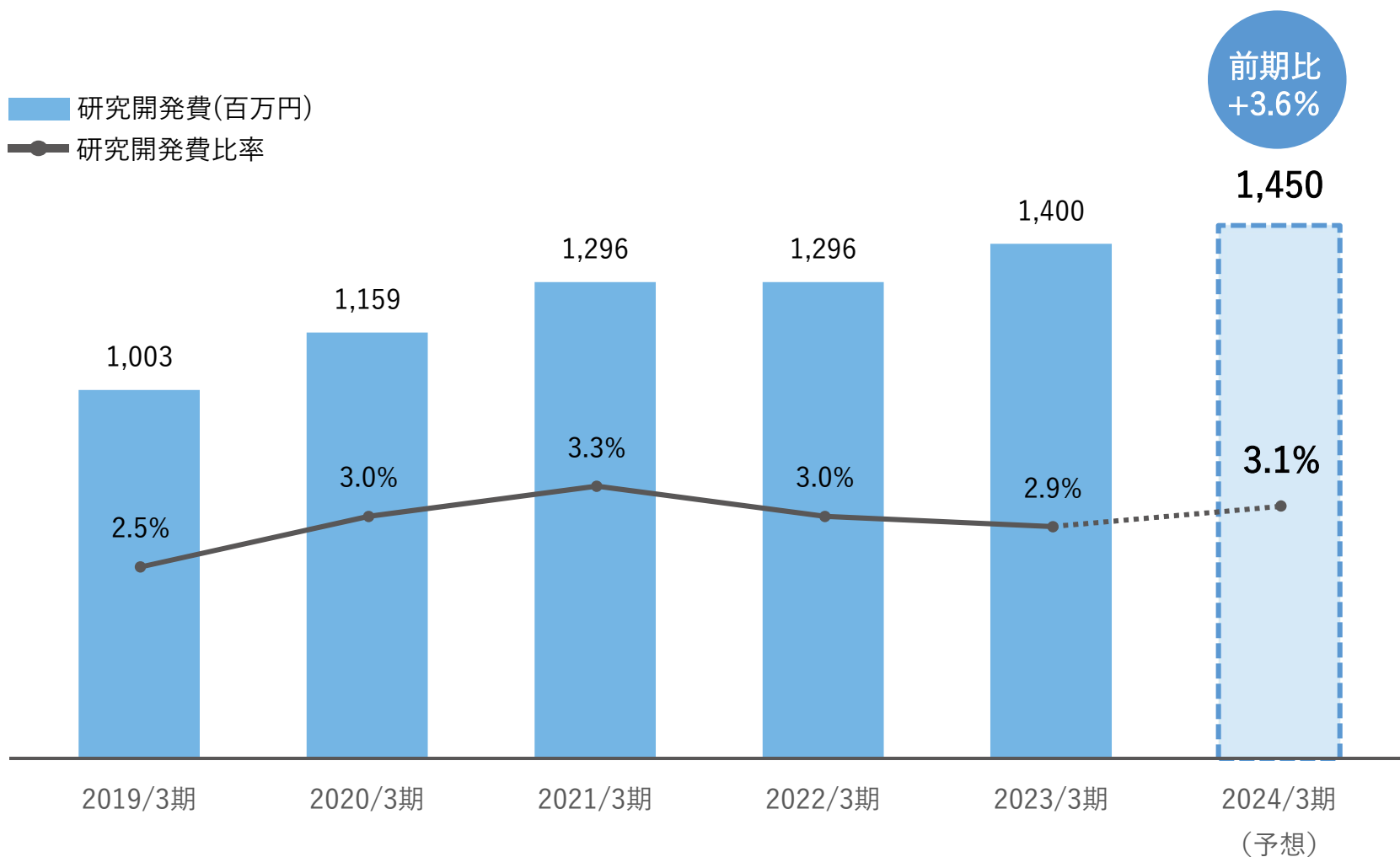
2024年3月期の設備投資予定額 50億円

- トーカロ 26億円：東京・明石・北九州工場を中心に、生産体制の強化・効率化など。
- 国内子会社 3億円：生産能力増強など。
- 海外子会社 21億円：漢泰国際電子(台湾)での新工場建設ほか。



研究開発費

POINT 研究開発費は連結売上高比で3%程度を維持。



持続的成長のために／ESGの取り組み



取り組みテーマ

- 脱炭素化（カーボンニュートラル）に向けた取り組み
- 廃棄物削減および環境保全への取り組み

これまでの主な成果

- 温室効果ガス排出の削減
（2025年度目標の「2013年度比46%減」を単体ベースで達成）
- 廃棄物リサイクル率の向上



- 中長期的人財育成プランの策定
- 働きやすい環境の整備

- 人財育成方針策定と目標設定
- グローバルチャレンジ制度新設
- ダイバーシティ推進室の新設、各種制度の拡充



- コーポレートガバナンスコード対応の高度化
- コンプライアンスの徹底（企業倫理に則った行動）

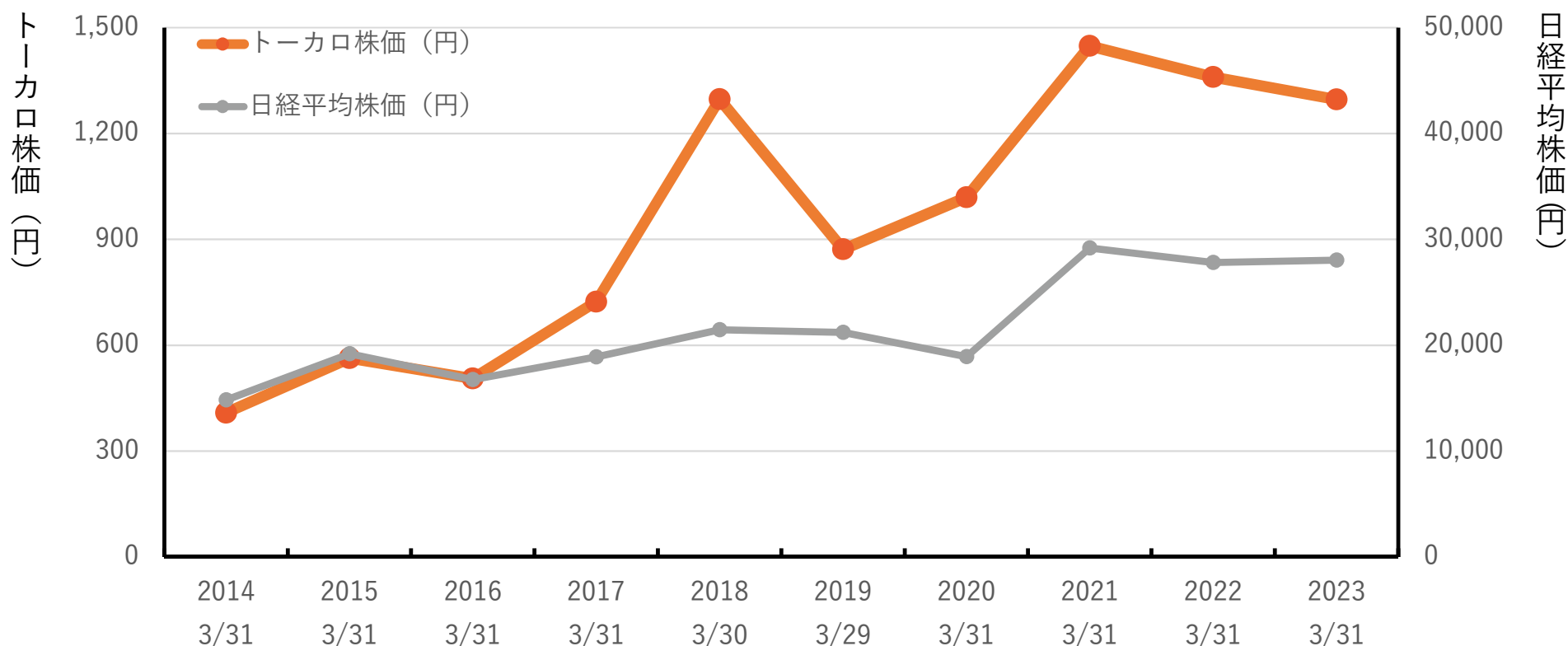
- 取締役会の多様性・実効性（経営の監督と執行の分離）
- サステナビリティ委員会の新設
- 定期的なコンプライアンス研修

当社が掲げるビジョン「人と自然の豊かな未来に貢献する」の実現に向け、さらに取り組みを進めます。

4. 株価と株主還元

株価の推移

- 2014年度から10年間の株価上昇率では、日経平均株価を上回っています。
- 過去最高益を更新するも、最近の株価は停滞。



(注) 2018年3月1日に株式分割（1株につき4株の割合で分割）を行っております。これに伴い、株価は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の終値を表記しております。

9月1日終値 1,437円

PER : 14.86 PBR : 1.62

(EPS : 96.70円 BPS : 884.83円)

自己株式の取得および消却について

POINT

最大20億円の自己株式取得を実施中。

- 取得対象株式の種類 当社普通株式
- 取得し得る株式の総数 2,000,000株（上限）
（自己株式を除く発行済株式総数に対する割合 3.29%）
- 株式の取得価額の総額 20億円（上限）
- 取得期間 2023年5月11日～2023年12月22日

POINT

2,000,000株の自己株式を消却済み。

- 消却する株式の種類 当社普通株式
- 消却する株式の総数 2,000,000株
（消却前の発行済株式総数に対する割合 3.16%）
- 消却実施日 2023年5月31日
- 消却後の発行済株式総数 61,200,000株

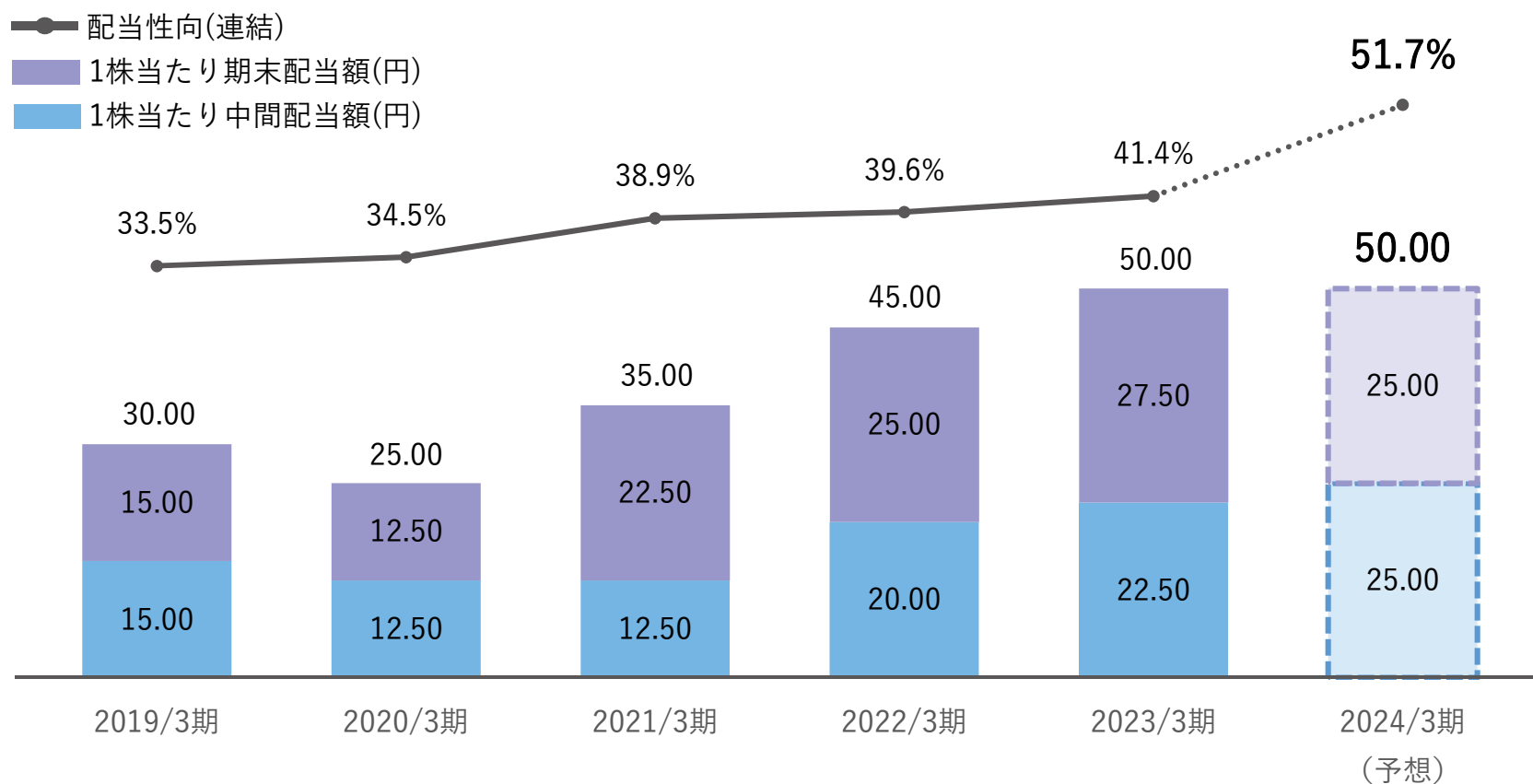
1株当たり配当額と配当性向の推移

POINT

2024年3月期の年間配当は50円（配当性向51.7%）を予定。

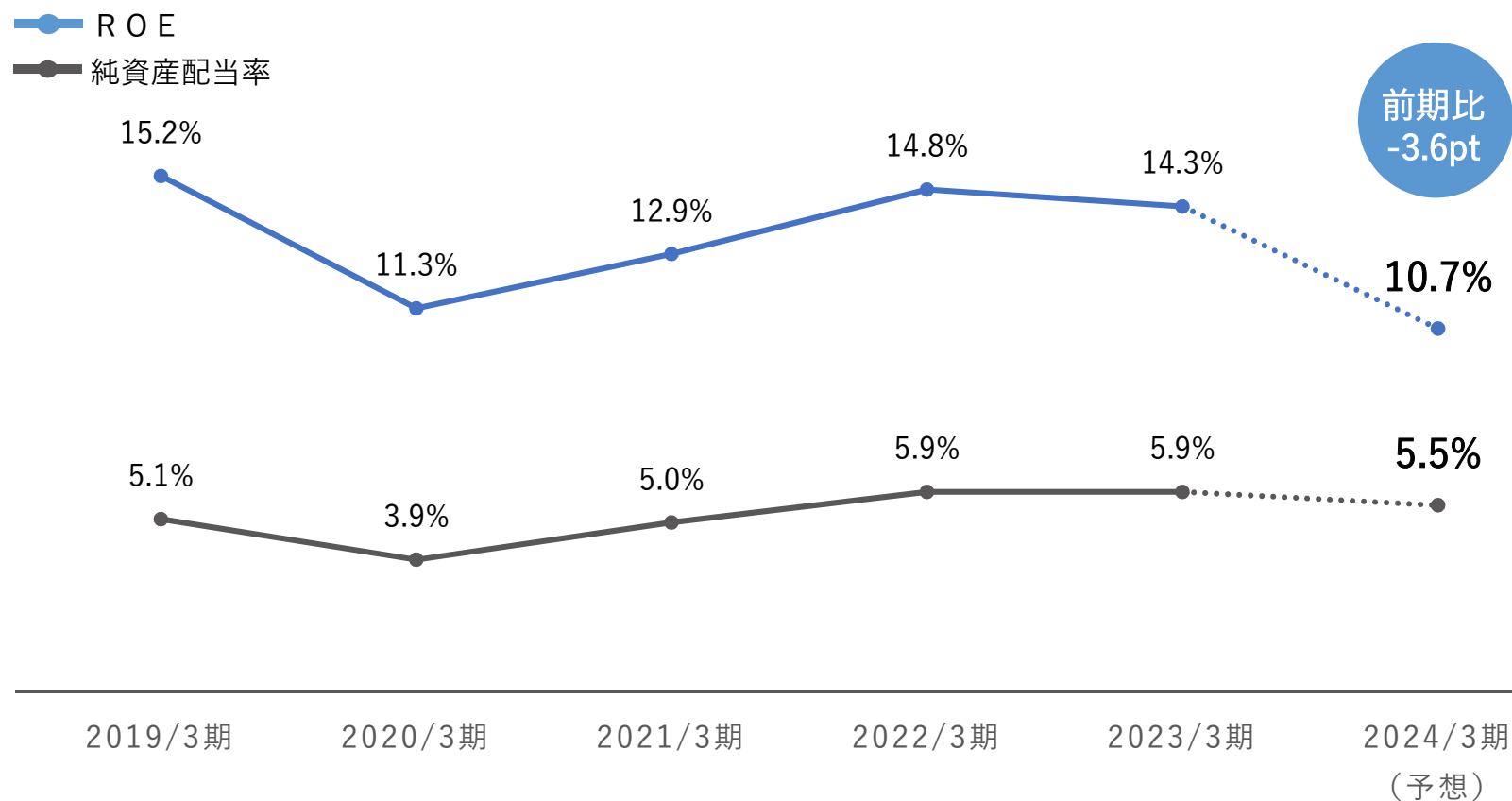
株主還元方針

- 株主還元をさらに充実させるべく、配当性向50%程度を目指す。
- 自己株式の取得・消却も、事業環境や財務状況などを考慮して適時適切に実施。



R O E と純資産配当率の推移

POINT R O E ※は10.7%に低下するも、純資産配当率※は5 %以上を維持。



※ R O E (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本

※ 純資産配当率 = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= R O E × 配当性向)


新社長のもと持続的成長を目指します

2023年6月23日付けで、小林和也が新社長に就任しました。

新社長のもと社員一丸となって、変化に柔軟に対応し、チャンスへと変えることによって持続的に成長していきます。

氏名	小林 和也 (コバヤシ カズヤ)
生年月日	1964年12月24日生 (58歳)
略歴	1989年4月 当社入社 2014年4月 北九州工場長 2017年4月 品質管理部長 2018年4月 明石工場長 2019年6月 取締役明石工場長 2020年4月 取締役製造副本部長 2021年6月 常務執行役員製造本部長 2023年6月 代表取締役社長執行役員 (現任)



The background features a collection of orange crosses and stars of varying sizes and opacities, scattered across the upper half of the page. Some are sharp and vibrant, while others are faded and semi-transparent, creating a sense of depth and movement.

ご清聴ありがとうございました。